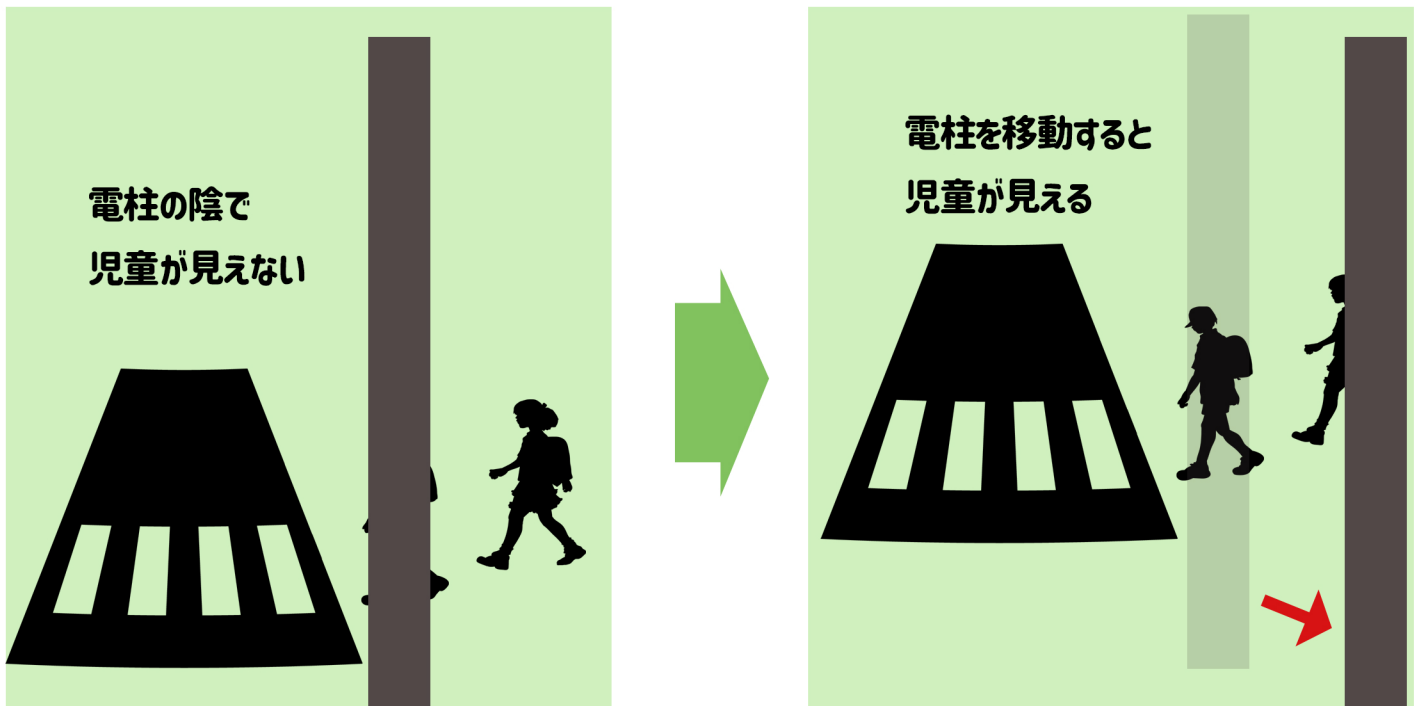




## 一步前進！通学路の危険個所が改善

～浜之郷小学校前の電柱が移設されます～



※工事は今年5月着手、8月完了予定です。

鶴嶺東地区まちぢから協議会では、全部会共通事業として「子どもを見守る活動」を令和3年7月から続けています。令和4年8月に開催された鶴嶺東地区市民集会においても、子どもを見守る活動をテーマとし、「鶴嶺小学校通学路の諸問題」と「浜之郷小学校電柱移設」について意見が交わされました。

そして、市民集会でテーマとした「浜之郷小学校電柱移設」について、行政より移設に向けて東京電力工事計画順番待ちが示されました。浜之郷小学校正門前に信号機のない横断歩道があり、この横断歩道のすぐ脇にある電柱を移設するものです。問題となっていたのは、東側から来る車からは渡ろうとする児童がこの電柱の死角に入り、子どもの姿に気づきにくく危険だという点です。この電柱を歩道の北側に移設することで、横断歩道周辺の見通しが改善されます。

この電柱移設について、近隣のお住まいの方にもご理解・ご協力を頂きました。鶴嶺東まちぢから協議会一同、心より感謝申し上げます。今回の危険個所改善は一步前進ですが、鶴嶺東地区の通学路には、まだまだ皆さんの危険個所があります。今後も地域の皆さまと共に「子どもを見守る活動」を続けて参ります。



令和4年期  
民生委員・児童委員

令和4年12月1日民生委員・児童委員の全国一斉改選が行われ、令和4年期鶴嶺東地区では32名の方が委嘱されました。

(主任児童委員2名含む)

# 令和4年度 鶴嶺東地区合同防災訓練報告

鶴嶺東自主防災連合会 粕谷 勉

昨年11月13日に鶴嶺東地区合同防災訓練が実施されました。

コロナ禍により合同防災訓練は実施できず、各自治会が独自に安否確認訓練をしてきましたが、今年度は区域内の災害対策地区防災拠点を利用して9自治会が一斉に実施しました。今年度の新たな取り組みとして、トランシーバーを用いた情報伝達訓練も行われました。

## 訓練内容

- 1 自治会ごとの安否確認（要配慮者含む）
- 2 情報伝達訓練 安否確認のまとめをトランシーバーで拠点校へ報告
- 3 配備職員との顔合わせ・意見交換
- 4 避難所内防災倉庫の資機材見学と確認

## トランシーバーによる伝達

自治会ごとの安否確認結果を拠点校へ報告しました。トランシーバーによる情報伝達は、概ね問題なく実施することができました。電波が届きにくいと予想された場所もあり、事前にアンテナをロングタイプに交換して対応した自治会もありました。一方で、思っていたより受信しにくく建物の外に出なければならぬ、トランシーバーを使い慣れていない、未充電のために使えないなどの報告もありました。

令和4年度 鶴嶺東地区 合同防災訓練	拠点校参加人数		自治会		
	自治会 関係者	配備職員 教職員など	参加自治会 (※幹事自治会)	自治会会員 世帯数	安否確認 世帯数(割合)
鶴嶺小学校	57	8	浜之郷(※)	582	493(84.7%)
			矢畑	520	267(51.3%)
			下町屋	690	494(71.6%)
			TBS	562	477(84.9%)
			ホームタウン	292	269(92.1%)
鶴嶺中学校	40	6	矢畑(※)	1041	473(45.4%)
			浜之郷	762	541(71.0%)
			アイランズ	828	589(71.1%)
浜之郷小学校	14	8	西久保(※)	495	267(53.9%)
			浜之郷	159	121(76.1%)
円蔵中学校	58	5	円蔵(※)	548	433(79.0%)
			サニータウン	347	233(67.1%)
鶴が台小学校	45	7	円蔵(※)	510	438(85.9%)
			西久保	492	228(46.3%)
鶴が台中学校	46	6	円蔵(※)	657	547(83.3%)

円蔵小学校は運動会予備日の為、訓練に使用されませんでした。



配備職員の方々から防災資機材の説明がありました。



各自治会から安否確認の報告



配備職員の方から防災についてのお話がありました。

拠点校までの道路には、道幅が狭いため避難が困難になると予想される箇所、ブロック塀がある危険箇所などの報告がありました。また、危険箇所を避けると拠点校まで遠い、身体が不自由な方々の避難には別の方法を考える必要があるといった意見もありました。配備職員の方々による防災資機材の展示や説明は、貴重な機会となりました。防災資機材の内容物が一覧になっているとよい、自治会参加者も組み立てや収納に参加することが必要などの感想がありました。防災リーダーの高齢化が進み、若手の育成も望まれています。大きな災害に見舞われないことは幸いですが、防災に対する高い意識は保ち続けなければなりません。地域全体で取り組む『本気の防災訓練』が必要です。



安否確認の様子



投光器（停電時の夜間照明）



簡易トイレキット



多目的簡易ベッド



資機材倉庫



ファミリールーム(更衣室や授乳室などに)

# 令和四年度 各部会の活動実績報告

## 防災減災部会

部会長 吉原 弘子

11月13日(日)地区内6箇所の  
小中学校の、防災拠点にて分  
散開催をしました。

1. 情報伝達↓トランシーバ  
ーの活用
2. 配備職員との顔合わせ
3. 拠点校の防災資機材の説  
明と確認

定例会は8月と11月をのぞき  
毎月開催し、臨時部会も3回  
ほど開催し当日に臨みました。  
反省点や課題は多岐にわたり  
ありましたが、次年度の防災  
訓練に活かし、ステップアッ  
プの訓練に期待します。  
各自治会で会員の安否確認、  
要支援者への声掛けを役員、  
班長、防災リーダーとの協力  
のもと出来ました。今後はさ  
らに自治会員への防災訓練の  
周知徹底と、防災への関心を  
持つてもらえる活動が必要と  
思いました。大切なのは、日  
頃から隣近所とふれあい顔見  
知りになっていざと言う時  
には、誰も被害者が出ない地域  
にしたいものです。

※感震ブレイカー設置促進  
コロナ禍のため各自治会での  
説明会が出来ず、4自治会で  
13台の申し込みがありました。  
毎年設置促進の声掛けをして  
いく必要があります。

## 環境安全部会

部会長 高橋 里幸

環境安全部会は、年度当初に  
掲げた、①鶴嶺八幡宮前交差  
点附近の通学路の改善に向け  
た交差点を横断する児童数、  
通過車両数などの客観的デー  
タの収集及び改善策の検討、  
②私たちの生活に密接に関わ  
っている不適正排出などのご  
み問題への対応の検討、の二  
つのテーマに取り組むことと  
し、9回にわたり会議を開催  
しました。

通学路の改善に係るテーマに  
ついては、2回の通学路(鶴  
嶺八幡宮前交差点)実態調査  
を経て、調査報告書としてま  
とめるとともに、短期的、中  
期的な展望に立って、通学路  
のソフト的な改善策の検討を  
行いました。また、もう一つ  
のごみ問題のテーマについて  
は、それぞれの地区が抱える  
課題等を洗い出し、共通認識  
を持つとともに、鶴嶺東地区  
まちぢから協議会として、集  
合住宅や非自治会員に係る課  
題も含めて、ごみの不適正排  
出の課題に取り組むこととし  
その対応を検討しました。  
いずれのテーマも、次期に繋  
ぎ取り組むこととし、引き続  
き改善等の具体策を検討する  
こととしています。

## 青少年育成部会

部会長 山上 壽子

青少年育成部会は、東地区内  
にある小中学校5校に係る推  
進協はじめ保護者会、子ども  
会、主任児童委員によって構  
成されています。近年保護者  
会や子ども会の減少により学  
区におけるメンバーの偏りの  
問題や、仕事を持つ保護者が  
部員の大部分であるため、会  
議の出席も難しい等々部会独  
自の活動に着手することが難  
しい状況が続いてきました。  
加えて新型コロナウイルスも形  
を変え幾度となく流行の波が  
押し寄せ、多くの団体が活動  
を制限し、学校運営に影響を  
及ぼさないよう配慮しながら  
の活動となりました。

部会開催時には、地域におけ  
る子ども達や学校の様子、通  
学路等の危険箇所、事故事案  
等の情報提供・共有を行いま  
した。

## 高齢者活性部会

部会長 小泉 兵蔵

令和4年度もコロナ禍に振り  
回された一年でした。

高齢者の楽しみである区域の  
老人会の活動である「仲間同  
士の語らいや歌うをはじめ趣  
味の行動」の場に制限を加え  
られています。一方、部会の  
取り組みテーマである高齢者  
の活動調査も道半ばの状況で

## 地域福祉部会

部会長 野村 幸江

部会の活動も受け身の状  
況が多くなりました。  
何事もあせらず意欲を持ち繼  
続していきたいと思えます。  
早い時期にもとの活動ができ  
るよう願っています。

今年度の地域福祉部会では、  
認知症の方が地域で安心して  
暮らせるようにとの思いから  
活動をしてきました。6月に  
は、地域福祉部会員が、認知  
症サポーター養成講座を受講  
しました。10月には、「知ろ  
う・学ぼう認知症」という啓  
発チラシを作成し、まちぢか  
ら協議会の皆さんにお配りし  
ました。自治会等ですでに認  
知症サポーター養成講座を受  
講した所もありますが、この  
チラシにより何件かの問い合わせがあり、これから受講し  
てみようとする動きが出てき  
たことは良かったと思えます。  
今後も引き続き少しでも認知  
症についての理解が深まるよ  
うに活動していけたらと思っ  
ています。



## 編集後記

娘が鉄棒にハマっています。  
あれだけ嫌がっていた鉄棒に  
学校の先生やお友達がうまく  
回るコツを教えてくださいま  
す。私も同じことをしたは  
ずなのに、先生やお友達の力  
って凄い！有難い！！

鶴嶺東地区  
まちぢから協議会  
広報部会  
西園園裕子  
仲原順子

## ホームページ お引越ししました

鶴嶺東地区まちぢから協議会  
の最新情報をご覧ください

茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会  
トップページで鶴嶺東地区をクリック  
<https://chigasaki-machiren.org/>



鶴嶺東地区まちぢから協議会

会長 野村 幸江  
副会長 小泉 兵蔵  
事務局長 野村 幸江  
広報部長 野村 幸江  
環境安全部長 高橋 里幸  
青少年育成部長 山上 壽子  
地域福祉部長 野村 幸江  
総務部長 野村 幸江  
会計部長 野村 幸江  
庶務部長 野村 幸江  
広報部会 野村 幸江  
環境安全部会 高橋 里幸  
青少年育成部会 山上 壽子  
地域福祉部会 野村 幸江

〒243-0292 茅ヶ崎市大井町2-1-1  
電話 0463-22-1111  
FAX 0463-22-1112  
Eメール machi-jikara@chigasaki-machiren.org

2023年4月15日

鶴嶺東まちぢから